鎌倉市 Kamakura City

令和８年度（2026年度）

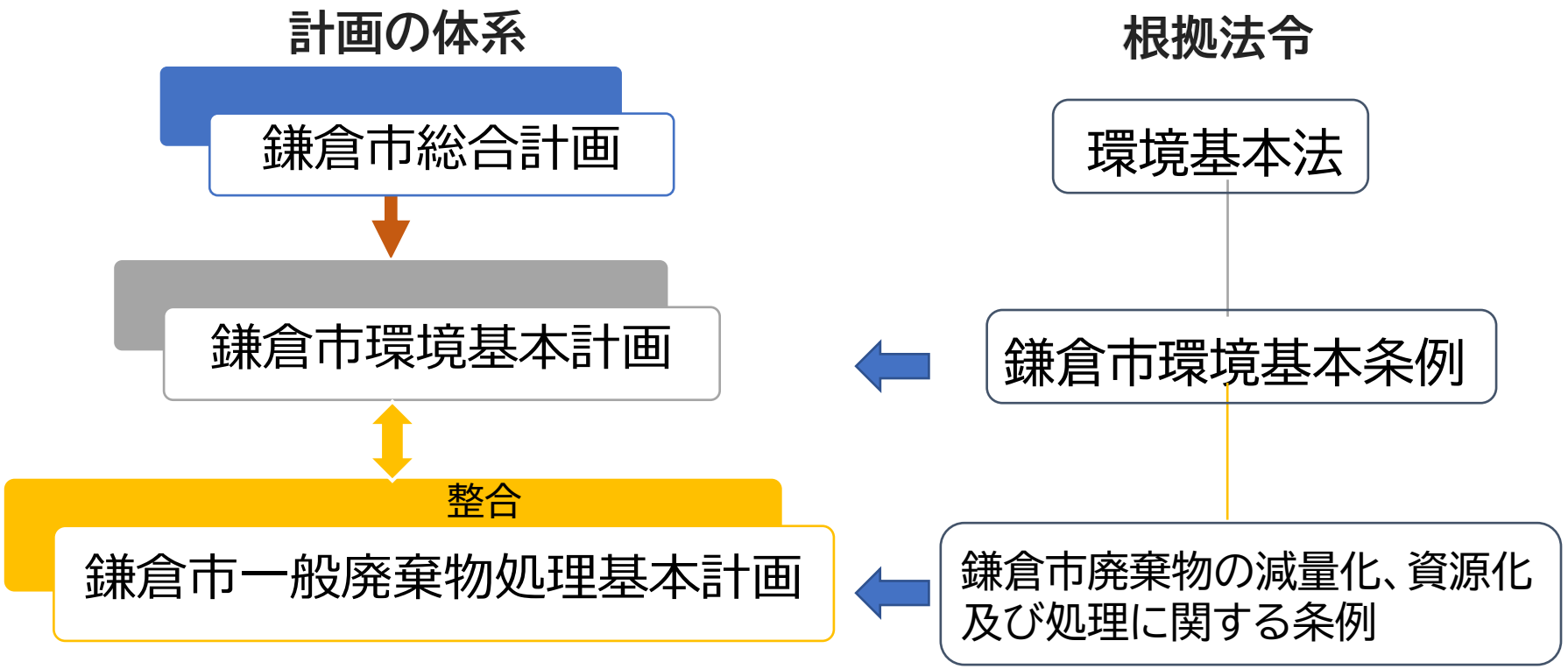
第１回
鎌倉市廃棄物減量化等推進員会合

主催：鎌倉市　ごみ対策課

鎌倉市における
ごみ処理施策の推進について

鎌倉市　環境部　ごみ対策課

循環型社会を形成するための計画の体系



・基本理念及び基本方針

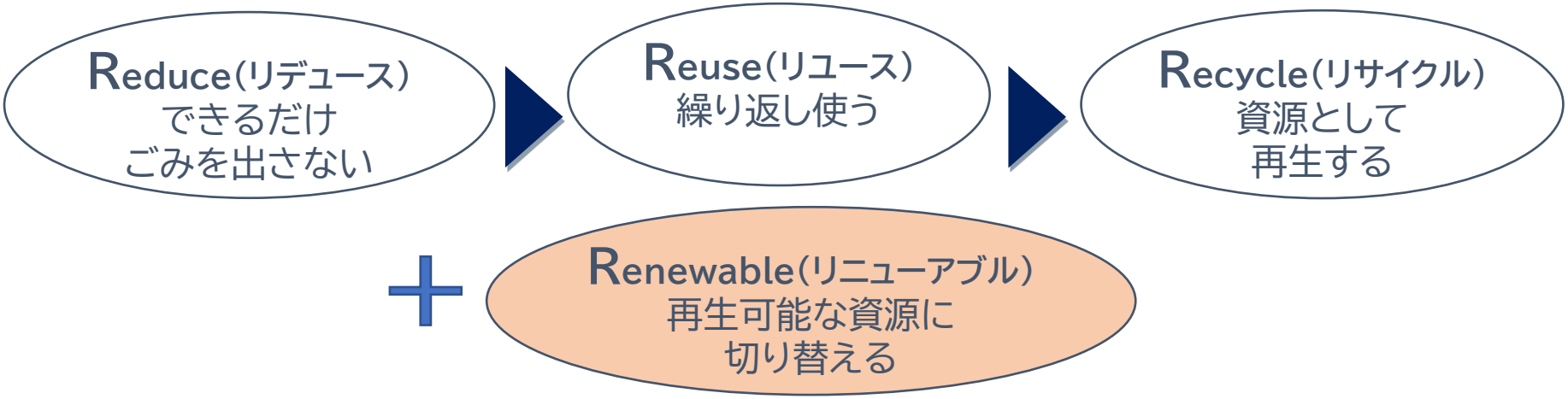
・ごみの発生量及び処理量（焼却量）と将来推計

・基本方針に基づく施策の展開

鎌倉市の廃棄物政策の基本理念

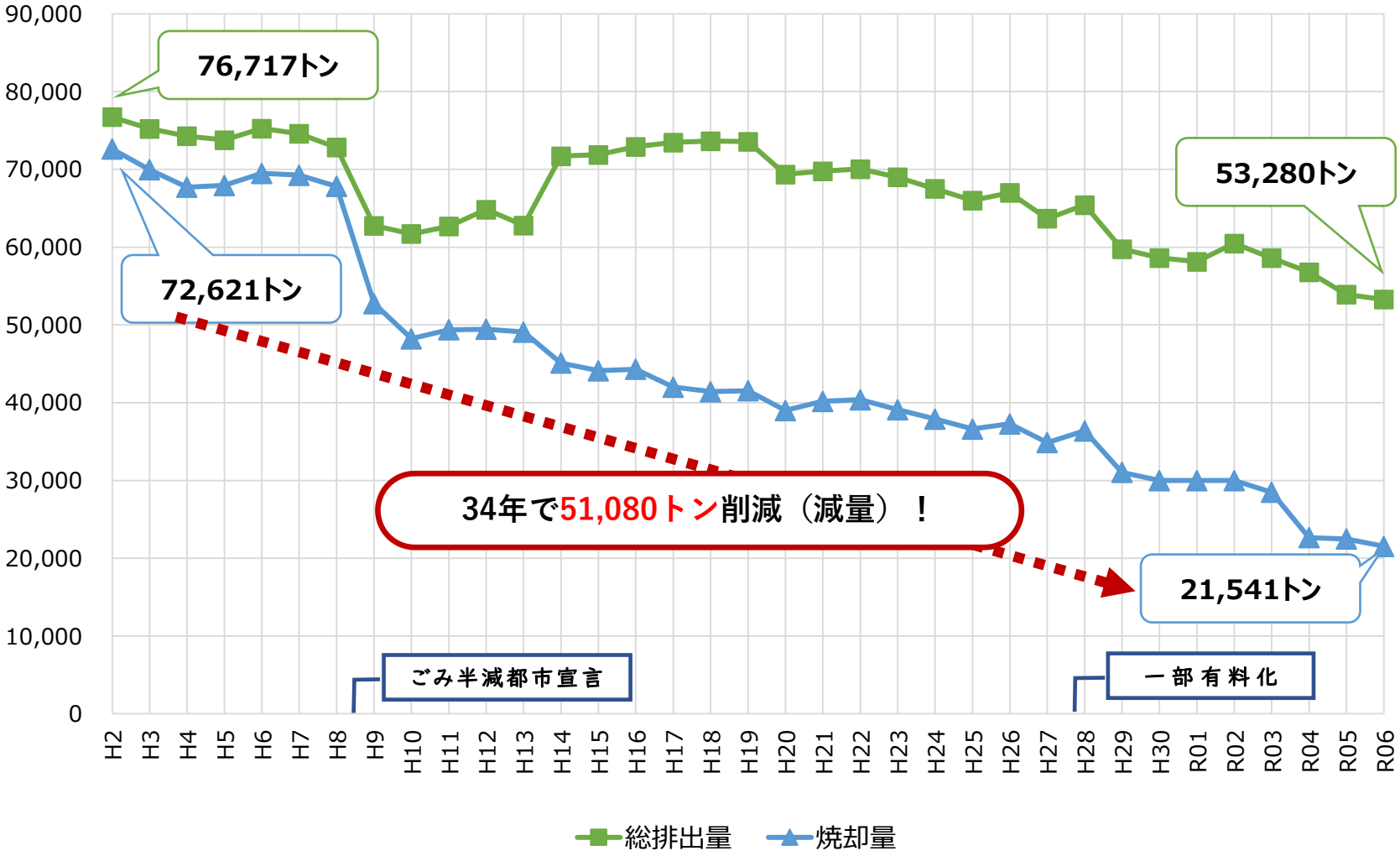
「ゼロ・ウェイストかまくら」の実現を目指して
～ モノを大切にして　心豊かな生活を ～

「循環型社会」を形成するため、市民、事業者、市が連携・協働して3R＋Renewableを推進し、廃棄物の焼却量や埋め立てによる最終処分量を限りなくゼロに近づける「ゼロ・ウェイストかまくら」の実現をめざす。



なるべくごみを出さない、ごみを少なくするライフスタイル全般への取組みが重要

鎌倉市のごみの総排出量と焼却量の推移



資源物とごみの流れ

鎌倉市の資源物とごみの流れ

飲食用カン・ビン

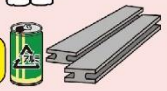


笛田リサイクルセンター



カン：選別・圧縮・成型
ビン：選別・破砕

カン → 売却 → アルミ原料・製鉄原料



ビン → 売却 → リターナブルビン



ビン → (財)容器包装リサイクル協会でビン製品などに再商品化

植木剪定材



植木剪定材受入事業場



積替え

資源化施設



破砕してチップ化
バイオマス発電に利用

一部

土壌改良材



市内で無料配布

紙　類



ミックスペーパー

笛田リサイクルセンター



圧縮・梱包

売却



トイレットペーパーなど



紙パック（牛乳パック、お酒、ブリックパック）



雑誌、古本、新聞、段ボール

市内の民間施設



圧縮・梱包

売却



段ボール、新聞、雑誌



布　類

売却



古着として海外などで再使用
ウエス（工業用ぞうきん）、軍手など

ペットボトル



市内の民間施設



圧縮・梱包

売却

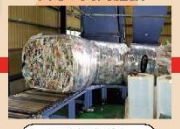


ペットボトル

容器包装プラスチック



市内の民間施設



圧縮・梱包



(財)容器包装リサイクル協会でプラスチック原料やコークスの生成、発電などに利用

製品プラスチック



坂ノ下積替所

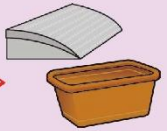


積替え

資源化施設



細かくしてプラスチック原料へ



プラスチック製品など

燃やすごみ



環境センター
中継

焼却施設



焼却

資源化施設



焼却灰を溶融固化処理



生成したスラグを道路の路盤材などに使用

粗大ごみ



民間施設



積替え・選別

金属などの有価物
資源化業者に売却

木くず
燃料チップ

羽毛布団
羽毛製品

燃えないごみ 危険・有害ごみ 使用済み食用油

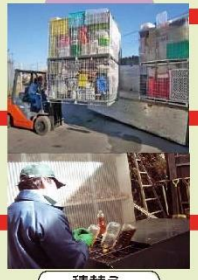


燃えないごみ、危険・有害ごみ



使用済み食用油

坂ノ下積替所



積替え

売却

金属などの有価物
資源化業者に売却

売却

せともの屑、ガラス屑など
溶融固化処理し、路盤材などに使用

売却

航空燃料（SAF）など

植木剪定材



植木剪定材受入
事業場で積替え

資源化施設でチップ化し
土壌改良材を作成



市内5カ所で無料配布



市施設で積替え



資源化施設でチップ化し、バイオマス発電へ

容器包装プラスチック



市内の民間施設で
選別・圧縮・梱包



（公財）容器包装リサイクル協会で
プラスチック原料や鉄鉱石の還元剤
などに再商品化



手選別で異物を除去



圧縮・梱包

リチウムイオン電池等の小型充電式電池



令和７年（2025年）４月から収集開始
　モバイルバッテリー等、指定の13品目

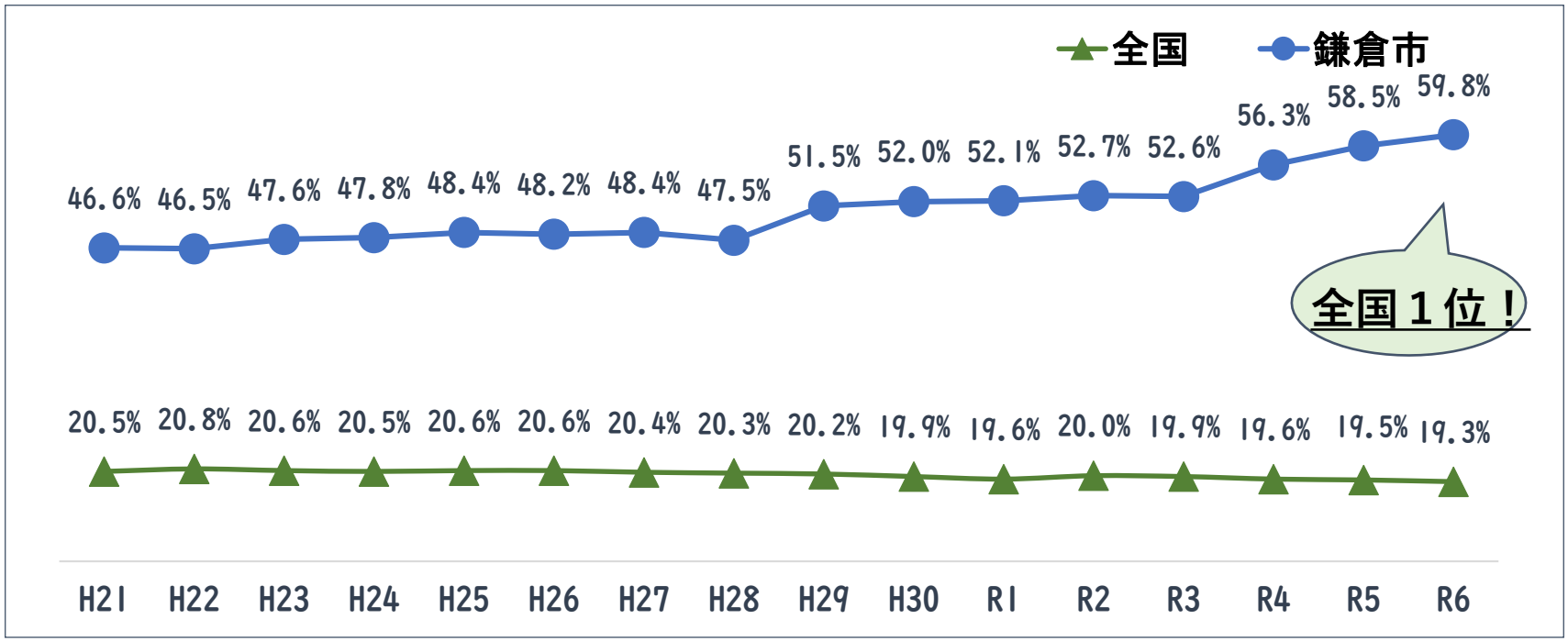
排出方法

電池切れまで放電
→絶縁（端子部分にテープ）
→袋に入れて危険・有害ごみの日に排出



令和８年（2026年）４月から品目拡大
・50㎝未満の電池及び電池を外せない製品
・窓口にて膨張した電池の引き取り

リサイクル率の推移



鎌倉市のリサイクル率（人口10万人以上50万人未満の市）

●H26～H28
全国３位！

●H29
全国2位！

●H30～R6
全国１位！

令和8年4月から全市開始となった戸別収集について

鎌倉市　環境部　ごみ対策課

戸別収集とは・・・

「各家庭のごみ」を
「道路に面した自宅敷地内」に排出いただき
「建物ごとに収集する方法」です



戸別収集の実施目的

クリーンステーション収集に伴う様々な負担の軽減

高齢者や子育て世帯、多様なライフスタイルのもとで
生活する市民のごみ出しに対する負担

不法投棄、動物被害、設置場所調整・当番制等
クリーンステーションの維持管理にあたって生じる負担



ごみの減量

ごみ出しの責任が明確化され、分別に対する意識が高まり、燃やすごみに混入する資源物の割合が減少することで、ごみの減量につながる

令和8年（2026年）4月から

市内全地域で

「燃やすごみ」の戸別収集が始まりました。

（その他の品目はクリーンステーション収集を継続）

1．全市を対象とした燃やすごみ戸別収集の実施状況について

（1）週毎の一日当たりの平均収集漏れ件数

週　数		平均件数※
第１週	４月２日～	464.0件
第２週	４月６日～	254.5件
第３週	４月13日～	121.8件
第４週	４月20日～	74.8件
第５週	４月27日～	57.5件
第６週	５月4日～	43.5件
第７週	５月11日～	34.8件
第８週	５月18日～	30.3件
第９週	５月25日～	32.5件

※少数点第2位を切上げ







（２）先行地区との比較

	令和７年度 先行地区（戸建て約10,000世帯）				令和８年度 全市（戸建て約58,000世帯）			
		件数	減少率*1	割合*2		件数	減少率*1	割合*2
第１週	4/1～	**53.7**	－	0.36%	4/2～	**464.0**	－	0.80%
第２週	4/7～	**25.5**	-53%	0.13%	4/6～	**254.5**	-45%	0.22%
第３週	4/14～	**14.5**	-43%	0.07%	4/13～	**121.8**	-52%	0.10%
第４週	4/21～	**8.5**	-41%	0.04%	4/20～	**74.8**	-39%	0.06%
第５週	4/28～	**8.8**	4%	0.04%	4/27～	**57.5**	-23%	0.05%
第６週	5/5～	**4.0**	-55%	0.02%	5/4～	**43.5**	-24%	0.04%
第７週	5/12～	**3.8**	-5%	0.02%	5/11～	**34.8**	-20%	0.03%
第８週	5/19～	**3.0**	-21%	0.02%	5/18～	**30.3**	-13%	0.03%
第９週	5/26～	**2.0**	-33%	0.01%	5/25～	**32.5**	+7%	0.03%

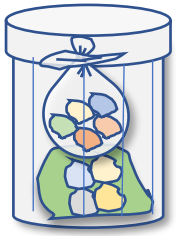
※1:減少率…前週からの減少割合
※2:割合……収集漏れ件数÷戸建世帯数（週２回分）

戸別収集の収集漏れの主な発生要因

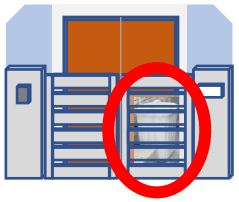
1．排出頻度が極端に少ない世帯



2．排出容器内で重なったごみ
（特に紙おむつや清掃ごみ）

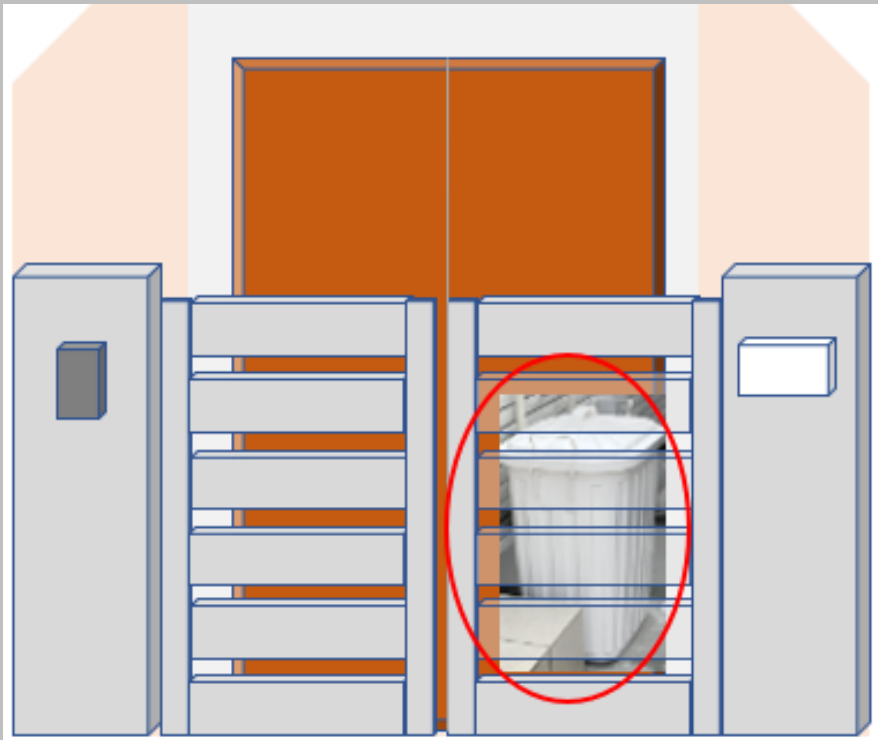


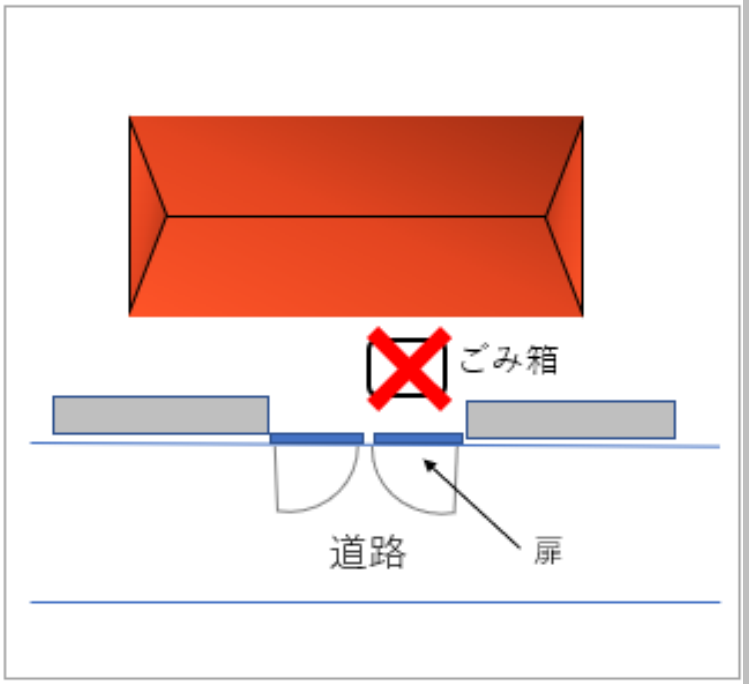
3．道路から見えにくい場所



実際にあった排出場所の例

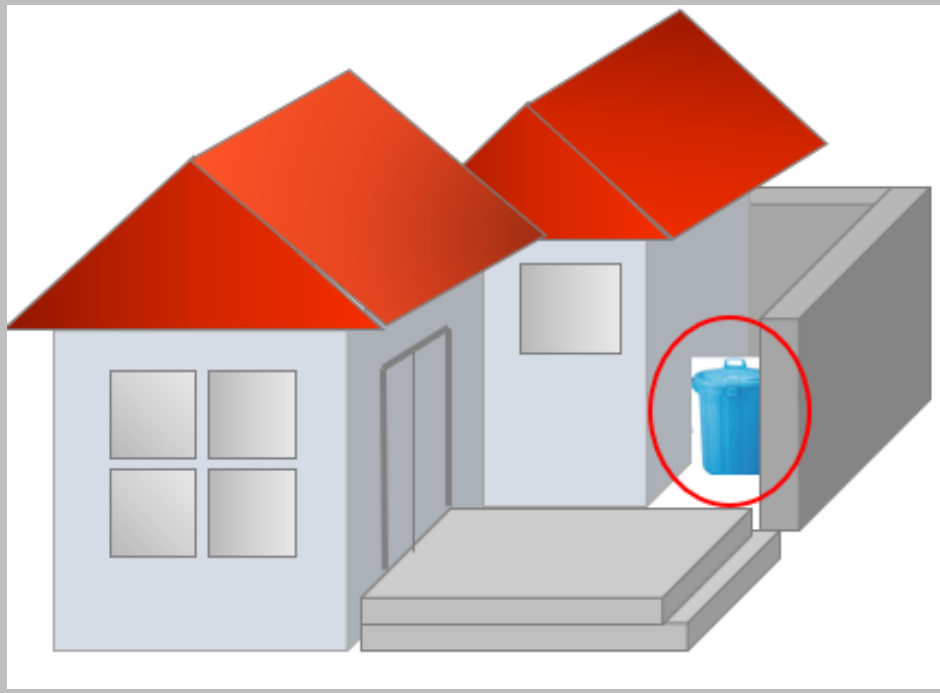
道路から見えにくい場所の例 - ①・・・門の中

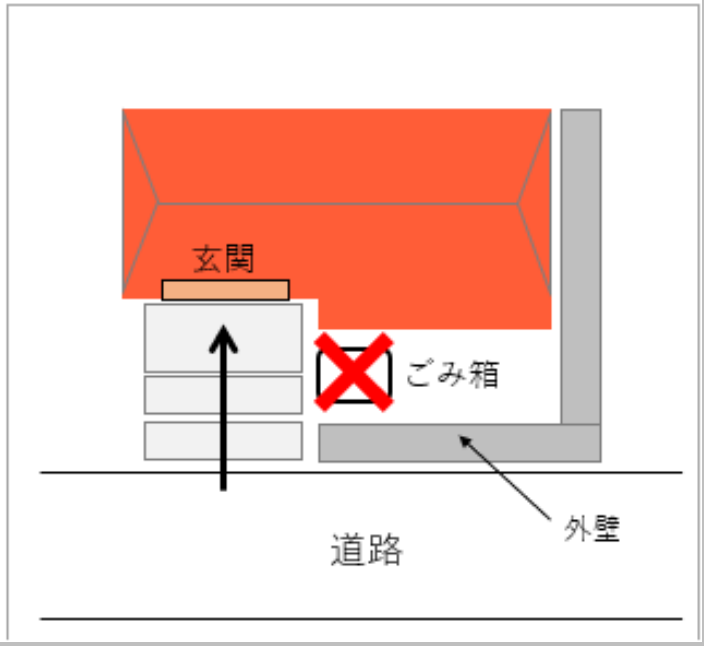




実際にあった排出場所の例

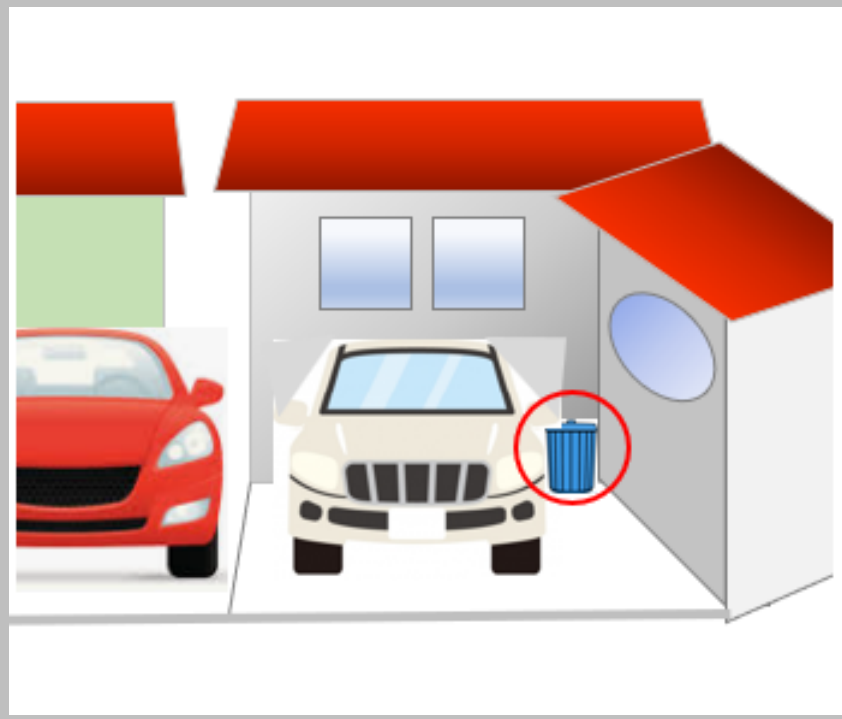
道路から見えにくい場所の例 - ②・・・外壁の裏





実際にあった排出場所の例

道路から見えにくい場所の例 – ③・・・駐車場の奥





（４）クリーンステーションへの誤った排出への対応

収集曜日	４月	５月
月・木曜日 収集エリア	**42**件	**15**件
火・金曜日 収集エリア	**46**件	**16**件

収集曜日の変更について

目的

① 収集効率の向上及び経費の削減

② 燃やすごみ収集曜日と他品目収集曜日の重複回避

周知

①広報かまくら令和７年11月号、令和８年３月号

②全戸配布リーフレット（広報12月号と同時配布）

③地域への説明会

④自治町内会向け回覧用チラシ

⑤対象世帯への週間カレンダー配布

⑥市HP、LINE等SNS



燃やすごみ戸別収集アンケート調査結果

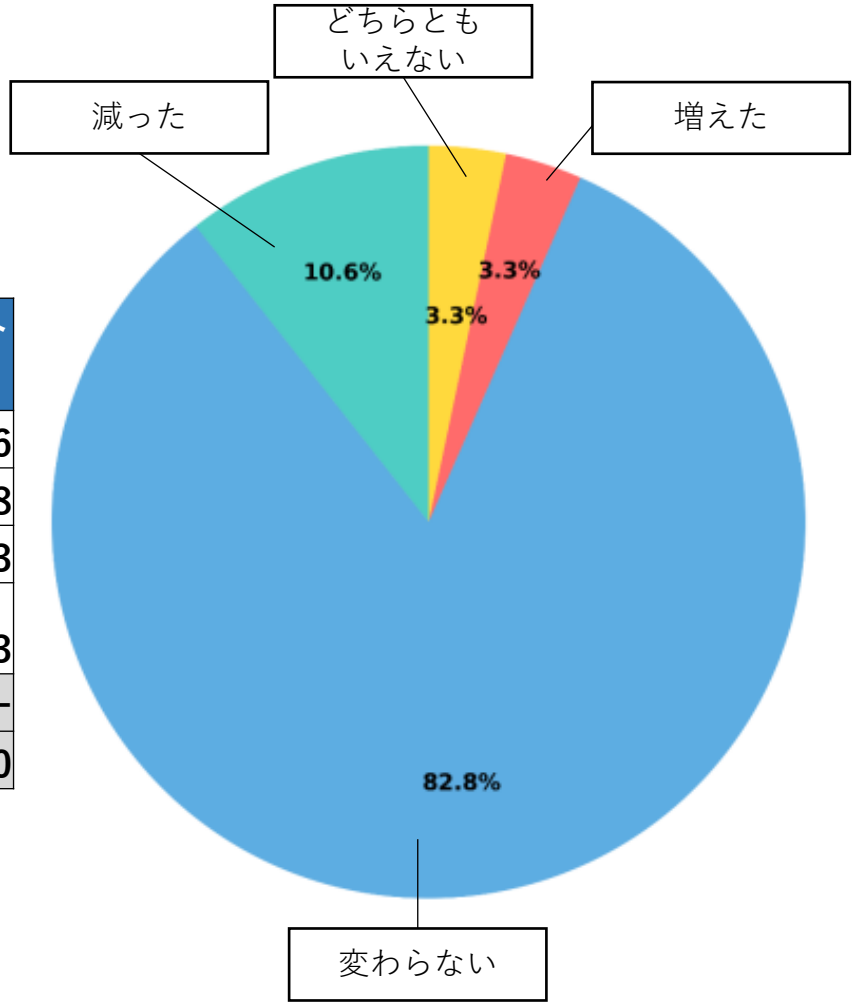


鎌倉市燃やすごみ戸別収集
アンケート調査　最終報告書

アンケート調査の詳細はこちら

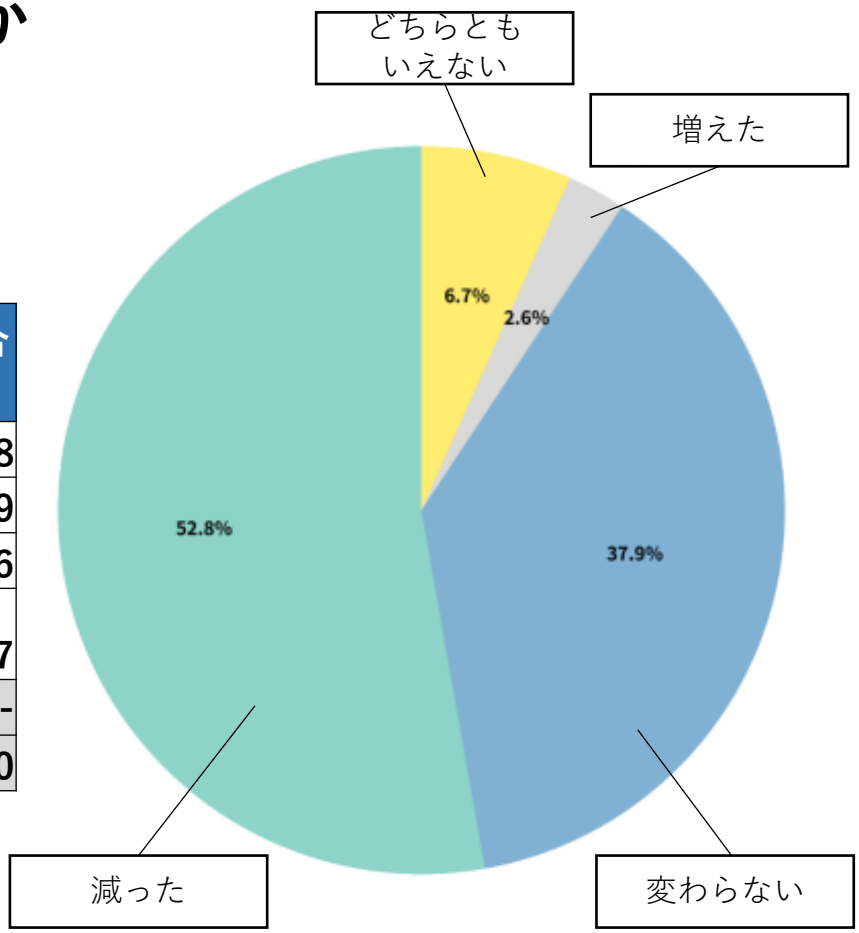
Q 戸別収集になってから、燃やすごみの量に変化がありますか

選択肢	件数	割合（%）	有効回答割合（%）
減った	150	10.4	10.6
変わらない	1,168	81.3	82.8
増えた	47	3.3	3.3
どちらともいえない	47	3.3	3.3
無回答	24	1.7	-
合計	1,436	100	100



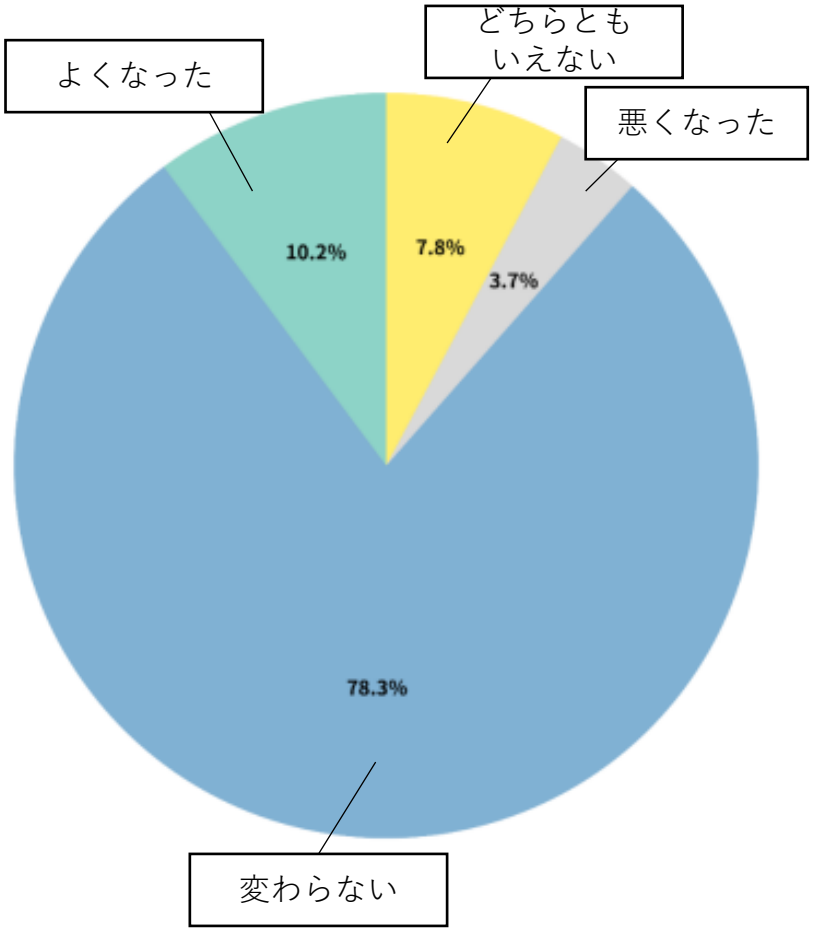
Q クリーンステーション収集の時に比べ、カラス等の被害に変化は ありますか

選択肢	件数	割合（%）	有効回答割合（%）
減った	736	51.3	52.8
変わらない	529	36.8	37.9
増えた	36	2.5	2.6
どちらともいえない	94	6.5	6.7
無回答	41	2.9	-
合計	1,436	100	100



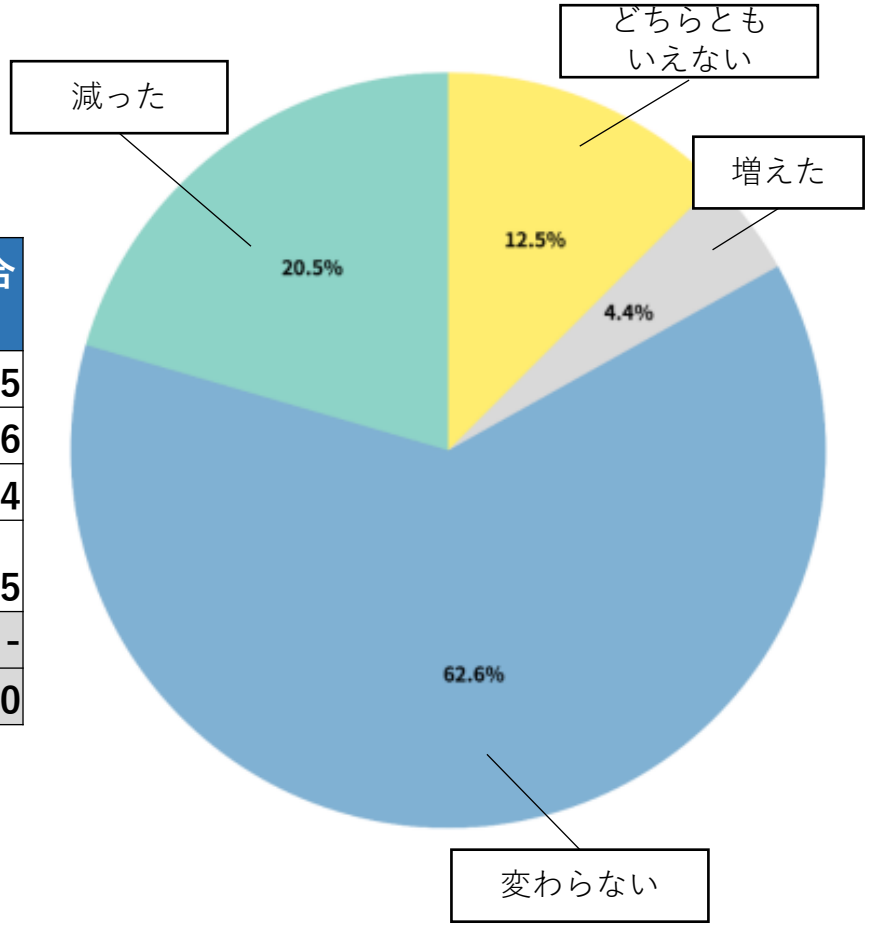
Q クリーンステーション収集の時に比べ、地域のコミュニケーションに変化はありますか

選択肢	件数	割合（%）	有効回答割合（%）
よくなった	145	10.1	10.2
変わらない	1,108	77.2	78.3
悪くなった	52	3.6	3.7
どちらともいえない	111	7.7	7.8
無回答	20	1.4	-
合計	1,436	100	100



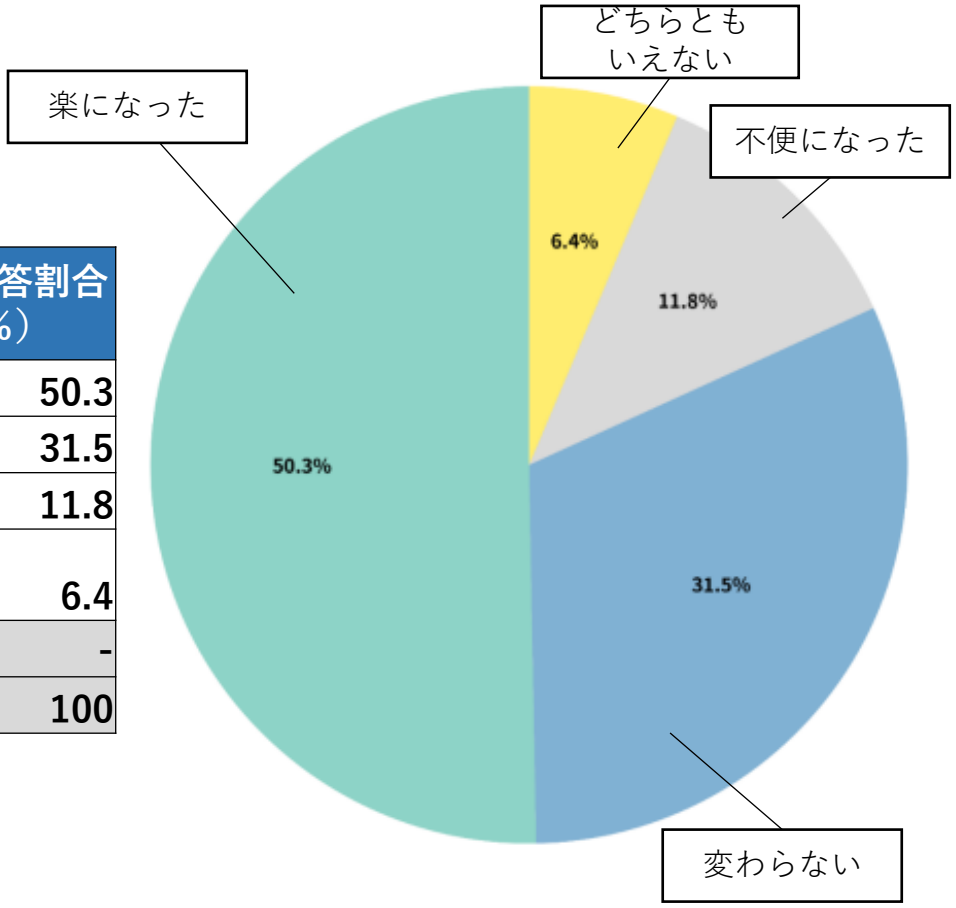
Q クリーンステーション収集の時に比べ、ポイ捨てや不法投棄に変化はありますか

選択肢	件数	割合（%）	有効回答割合（%）
減った	290	20.2	20.5
変わらない	889	61.9	62.6
増えた	62	4.3	4.4
どちらともいえない	177	12.3	12.5
無回答	18	1.3	-
合計	1,436	100	100



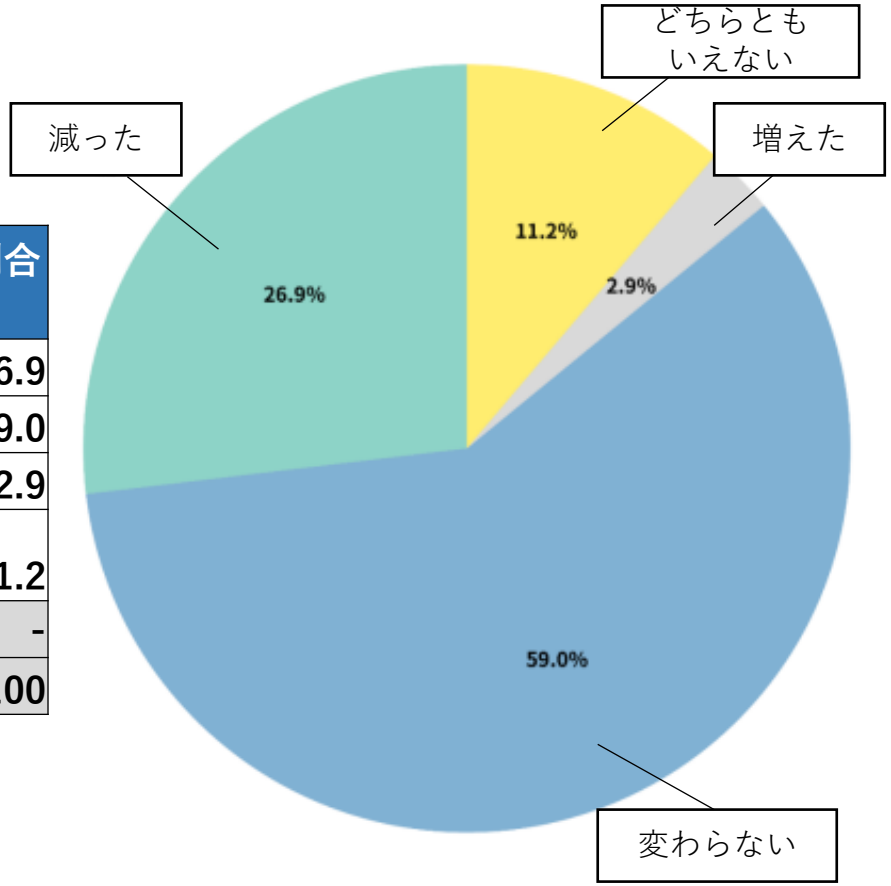
Q クリーンステーション収集の時に比べ、ごみ出しの負担に変化はありますか

選択肢	件数	割合（%）	有効回答割合（%）
楽になった	715	49.9	50.3
変わらない	447	31.1	31.5
不便になった	168	11.7	11.8
どちらともいえない	91	6.3	6.4
無回答	15	1.0	-
合計	1,436	100	100



Q クリーンステーション収集の時に比べ、クリーンステーションの 維持管理の負担に変化はありますか

選択肢	件数	割合（%）	有効回答割合（%）
減った	381	26.5	26.9
変わらない	834	58.1	59.0
増えた	41	2.9	2.9
どちらともいえない	158	11.0	11.2
無回答	22	1.5	-
合計	1,436	100	100



他品目の戸別収集について

現時点では未定ですが、「**容器包装プラスチック**」を優先的に検討すべき品目として考えています。



よくある質問（FAQ）

Q 県内他市町で他に戸別収集を実施しているところはありますか？

A 神奈川県内では、大和市（H18.7）藤沢市（H19.4）、葉山町（H26.6）、海老名市（R元.9）、平塚市（R3.10から開始し、順次エリアを拡大中）が実施をしています。
また、厚木市が令和元年5月から実施しているモデル事業を継続し、実施の検討を行っている他、茅ケ崎市も令和７年から実験事業を行っています。

Q 車が入れないところはどうやって収集するのですか？

A 安全な場所に車を停めて、収集員が歩いて各戸に収集に伺います。

よくある質問（FAQ）

Q　収集漏れがあった場合は？

A　収集時間は8:30~15:30です。
15:30を過ぎてもごみが収集されていない場合は、お手数ですがごみ対策課までご連絡ください。また、収集漏れに気づいたのが窓口終了後の場合は翌日のご連絡でも対応いたします。

Q　普段は9時～10時頃に収集車が来るので、9時頃にごみを出していたら収集漏れがありました。再収集をお願いできますか？

A　朝8:30までの排出をお願いしております。（クリーンステーション収集と同様です。）
当日の収集時間は、道路交通状況などにより前後する場合があります。
朝8:30以降に排出されたごみの再収集は対応することができません。

よくある質問（FAQ）

Q 設置している排出容器の中に不法投棄されてしまったら？

A ごみ対策課戸別収集担当にご連絡ください。
対応策について調整させていただきます。

Q クリーンステーションに誤って燃やすごみが出されていたら？

A 啓発用のシールを貼って一定期間置かせていただき、出した方に持ち帰ってもらいます。それでも出した方が引き上げない等の問題が生じた場合は、ごみ対策課戸別収集担当にご連絡ください。個別に対応いたします。

連絡先



○戸別収集について

環境部　ごみ対策課　戸別収集担当

住所　：〒248-0027 笛田一丁目11番34号

TEL　：0467-40-5542

メール：kobetsu@city.kamakura.kanagawa.jp

○ごみの分別や減量化・資源化について

環境部　ごみ対策課　ごみ対策担当

住所　：〒248-8686 御成町18番10号（本庁舎27番窓口）

TEL　：0467-61-3396

メール：gomi@city.kamakura.kanagawa.jp

ご清聴ありがとうございました。

